

いいの 公民館だより

発行：飯野公民館 入善町東狐171-1 TEL 0765(72)5723 令和4年3月25日
(Eメール) info-s@iino-k.main.jp (URL) http://iino-k.main.jp/

111号

新型コロナウイルス禍で行われた公民館まつり

1日の作品展示とスピードクジ大会で実施

11月7日(日)、新型コロナウイルスの流行から、来場者が密状態にならないように昨年と同様に、作品展示をメインとして行いました。そのため、例年公民館まつりで行われているソバと豚汁試食会は、今年度も中止することになりました。

今年度のスピードクジは、はずれなしで行い、1等に洗剤ギフトセット、10等にティッシュペーパーとクジ運の強い人と弱い人に分けられました。



☆作品展示数

・幼児、学生 112点 112人
・一般 99点 57人

☆スピードクジ

・1等～10等 (はずれなし)

来場者数
257人

きよこさん家の餅ピザ No.2

今回は、公民館協力員「きよこさん家の餅ピザ」を紹介します。

餅キムチピザ



【特徴】

- ・味付けなし
- ・冷蔵庫の余り物利用
- ・調理時間 6分
(オーブントースター)

【材料】

- ・餅 2個 ・ピザ用チーズ 適当
- ・キムチ適当 ・焼き海苔 1/2枚
- ・ピーマン 1/2個

【作り方】

- ①餅を4等分に切り、耐熱皿に並べてレンジで1分。
- ②焼き海苔・キムチ・ピーマン・チーズの順に乗せる。
- ③オーブントースターで5分焼く。
- ④食べる時に、オリーブオイルを掛ける。

☆コツ・ヒント

レンジで作ると1分で完成。クッキングシートを敷くと、お皿がベタベタになりません。

飯野公民館ホームページのお知らせ

インターネットの普及によって、必要な情報が手軽に見ることができるようになりました。

飯野公民館にホームページがあることをご存知でしょうか。飯野公民館のホームページは、平成25年に公民館主事補であった志摩さんが作られ、現在に至っています。

パソコンやスマホから「飯野公民館」と検索入力をするとうホームページにたどり着きます。

右のような内容で、行事アルバムには、行事概要の日時や写真、ブログには、「いいの公民館だより」を載せてあります。スマホやパソコンのお持ちの方、是非一度見てください



飯野公民館

- ▷トップページ
- ▷利用案内
- ▷行事予定
- ▷サークル活動
- ▷行事アルバム
- ▷ブログ
- ▷運営
- ▷アクセス
- ▷お問い合わせ・講座申込



編集後記

宇宙人が地球に侵略し、最後にウィルスの感染によって宇宙人が全滅するSF映画を思い出す。この映画の結末と違い、人間はウィルスとの戦いに挑んでおり、勝利することを切に願っている。(谷口記)



公民館協力委員の推薦

令和4年度は、公民館協力委員の任期1期2年を受けて交代年になります。男女平等と女性の活躍が叫ばれる今、公民館協力委員に女性が少ない状態です。各部落において、女性の推薦の検討をお願いします。

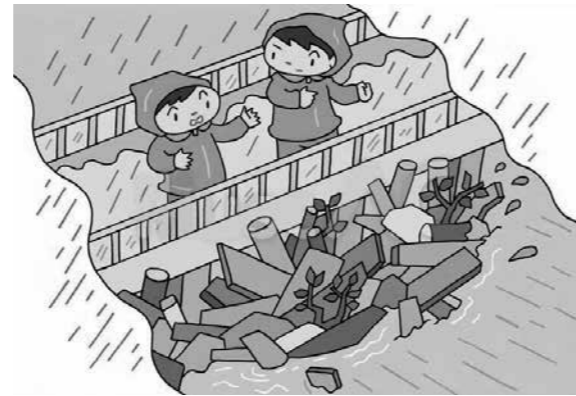


◆お問い合わせ・申し込みは 飯野公民館(いこい~の ☎72-5723)へ

災害に備えて 住民と部落のすべきこと

昨年7月に起きた静岡県熱海市伊豆山地区の土石流災害、8月に起きた九州地方、中国地方、北陸地方の集中豪雨災害が記憶に新しいと思います。この豪雨によって氷見市の一部地区に警戒レベル4の避難指示が発令されました。

飯野地区は自然災害が少ない事実から、今後も災害が起きないと考えておられる人がいませんか。災害はいつどこで発生するか分かりません。そのため、日頃の備えが必要となります。



重要ポイント

防災に取り組むためには、地区の住民一人ひとりが、いつどこで災害が起きるかも知れないという意識に変わらなければなりません。痛い目に遭わないと人は変わらないとも言いますが、こと自然災害になると、後で取り返しが付かない事態になる可能性があります。

諺に「泥棒を捉えて縄をなう」があるように、準備を怠り事が起きてから慌てて対応することのないように期待します。

1. 住民の意識改革



2. 部落の備え

10月24日(日)、飯野地区28区長を対象として、区長の防災教育を行いました。飯野地区防災士の佐原真知子さんより、ハザードマップの数値から各区長の住んでいる部落の自然災害の危険度と災害時のわが家の防災計画について、その後、防災士の谷口幸男さんより、災害に備えて各部落がしておかなければならないことについての講義が行われました。講義の中から、各部落の災害に備える事柄を紹介します。

1) 高齢者等避難発令

警戒レベル3の高齢者等避難が発令された時に備え、各部落で寝たきりの人や自力で歩くことができない人を把握し、誰が避難の支援をするかを決めて置くことが必要です。



2) 災害時声かけ世帯の体制づくり

地震等により自宅や隣近所が被災した場合、火災や物の下敷きになることが考えられます。このようなときに頼りになるのが、他人からの声かけです。

各部落において、隣近所の安全確認として、3~5世帯の災害時声かけ世帯の体制を作っておくことが必要です。この体制は多くの自治体で実施されています。

防災教育 避難所運営ゲーム

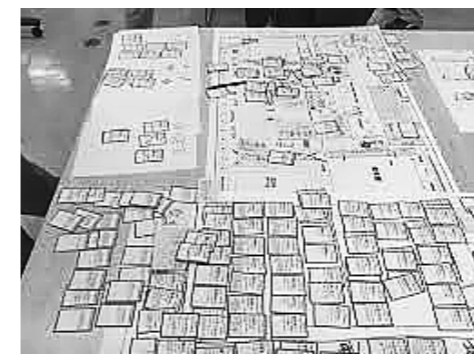
11月20日(土)、飯野地区社会福祉協議会主催による福祉講演会が、飯野公民館で行われました。富山県防災士会の佐伯邦夫さんを講師に迎え、飯野地区各主団体33名の参加で、避難所運営ゲームを行いました。

災害時の応急対策活動の中で、最も重要なものの一つが避難所運営です。避難所は、市町村職員が運営の中心になることもありますが、地域住民や避難者が主体とした避難所運営を目指すところも多くなっています。飯野地区は、後者を目標としています。



【避難所運営ゲームの内容】

避難所運営ゲームは、静岡県危機管理局が企画・開発したもので、避難者の年齢や性別、地区名やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、小学校の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、避難所で起こる様々な出来事カードにどう対応していくかを模擬体験するゲームです。



1グループは7名以下で、内1人がカードの読み上げ係り、他はプレイヤーとなります。読み上げられたカードに対してプレイヤーは、次のことを行います。

- ①避難者カードを避難者の属性を考慮して、体育館や教室の適当と思われる場所に配置する。
- ②出来事(イベント)カードで付与される様々な出来事に対し、ホワイトボードに対処策を書き出す。

プレイヤーは、このゲームを通して避難者の属性を考慮しながら部屋割りを考え、炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、取材や安否問い合わせ対応といった出来事に対して自由に意見を述べ、かつ話し合いながらゲーム感覚で避難所の運営を行います。

ゲーム終了後、グループ毎に用意したメモ用紙(付せん)に各自の感想を書き出し、グループ毎に出た意見を発表します。



このゲームに正解はなく、実際ゲームを体験することによって避難所の運営を学ぶことができます。